



# DI News

## 2021年度冬号

浦添総合病院 医薬品情報誌  
担当：宮里・岸本 作成者：岸本



### 今回のニュース

1. 薬剤自己管理支援
2. 入院前薬剤師介入
3. 退院時薬剤サマリ
4. リベルサス錠



## 1. 薬剤自己管理支援の取り組みが始まります！！

2021年11月15日より、薬剤自己管理支援の取り組みがスタートとなりました。看護部と薬剤部が主導して行っており、その詳細を紹介していきます。  
(※全患者ではなく対象疾患、対象患者をスクリーニングした上で行います)

薬剤自己管理？自分自身で薬を管理するってことかな？そのまま読んだだけだけど。。



うんうん、それであっているよ。退院した後も自分自身でしっかりと服薬継続できるように入院中から支援していく取り組みのことなんだ。



なるほど。入院中に自分が薬をしっかり飲めているか確認してもらうのはいいね！

↓↓↓「自己管理支援Book」から抜粋して紹介していきます↓↓↓

### STEP1 入院前

入院前の薬剤師面談時に、薬剤自己管理バッグ、配薬ケース、自己管理支援Bookが患者さんへ配布される。入院時に現在服用中の薬剤を自ら配薬して、そのまま持参する。



薬剤自己管理バッグ



配薬ケース



自己管理支援Book

## STEP2 入院当日

患者さんが、お薬セット済みのケース、ケースに入れたお薬の残り、自己管理支援BOOK、現在使用中のお薬、お薬手帳、お薬説明書などを薬剤自己管理バッグにまとめて持参する。

### 当日持参して頂くもの



まとめる



※薬剤自己管理バッグに入らない場合は、袋等にまとめて持参ください。

提出された薬剤は、薬剤師によって配薬状況の確認がなされる。



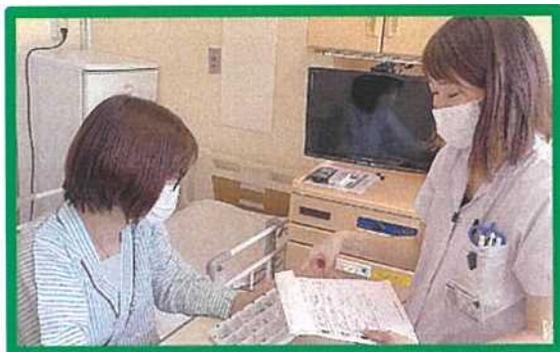
自己管理可能と判断されれば、次のSTEPへ。

配薬状況に問題があれば、病棟担当薬剤師にてヒアリング・指導を行い、自己管理に向けた支援を行っていく。



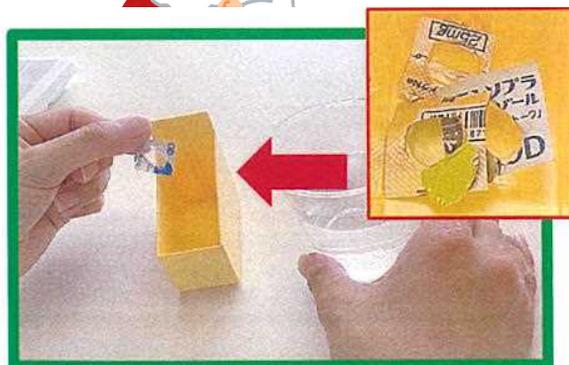
## STEP3 内服スタート！！

自己管理バッグは患者さん本人に返却される。  
また、医師から持参薬の継続処方が入る。



担当の看護師は、持参薬処方  
の指示内容を確認し、継続  
指示のあった薬剤を患者さん  
と一緒に確認する。  
(薬剤名・飲む時間・飲む量な  
ど)

内服前に、毎回患者さん自身  
で薬剤名・飲む時間・飲む量  
を確認した後、内服する。



内服後は、空のヒート(包装  
材)を回収カップに入れる。  
その後、看護師にて内服完  
了の確認をする。

※新規開始薬・中止薬の指示があればその都度スタッフより説明が入り、  
患者さん自身で配薬・抜き取りを行っていただく

入院中に看護師さんや薬剤師さんに見てもらえ  
たら、退院後も安心して飲んでいけそうだね。



退院後も継続できるといいね。薬剤自己管理の  
対象患者だけでなく、薬剤服用中の全患者対  
象に薬剤師が介入していることについても次項  
で紹介していくよ。



## 2.入院前の薬剤師介入について

当院では入退院支援室にて、入院前の薬剤服用中の全患者さんに対して薬剤師が面談を行っています。面談時に聞き取りしている内容について紹介していきます。

### 定期服用薬の情報

- かかりつけ施設・薬局
- 抗血栓薬
- 血糖降下薬
- ビグアナイド系血糖降下薬
- p糖タンパク阻害薬
- 週1回製剤・注射薬



### その他

- アレルギー・副作用歴
- サプリメント・市販薬の服用
- 薬剤調整希望(ポリファーマシー)
- 肺炎球菌ワクチン接種歴

### 〈確認していること〉

- ✓ 術前・検査前に中止が必要な薬剤が無いか。
- ✓ 入院後に使用を予定している薬剤と飲み合わせが悪い薬剤は無いか。
- ✓ 入院時に共有できるようにカルテに登録。入院後、内容に応じた介入を行う。  
(ポリファーマシーや副作用歴の精査、ワクチン接種勧奨など)



確認事項はたくさんあるんだね、大変だなあ。

入院前に収集した情報から、患者個々に合わせたサービスが展開されていくんだね。



当院のポリファーマシーの取り組みが沖縄県より表彰されました！



←「かんじゅうさびら 表彰2020」にて、健康づくりを積極的に実施している団体として沖縄県知事より準グランプリを頂きました！



### 3.退院時の薬剤サマリについて

退院時は、薬剤師による服薬指導を行います。その際にお薬手帳に下記のような「薬剤サマリ」シールを貼付させていただきます。また、医療機関・薬剤管理者宛てにも同様の内容で文書を作成しています。

～実際の使用例～

症例) 79歳 女性 Nさん

誤嚥性肺炎、心不全急性増悪があり入院加療。

肺炎治療後、心不全の治療開始あり、症状軽快し退院となった。

[ 薬剤管理サマリー ]

ID : ●●●●

○○○○ 様

【服用薬剤一覧】

薬品名 (退院処方)	1日量		
新・スピロラクトン錠25mg	1錠	1日1回朝食後	14日分
新・ビソプロロール錠2.5mg	1錠	1日1回朝食後	14日分
シルニジピン錠10mg	1錠	1日1回朝食後	14日分
イコサベント酸エチル900mg	2包	1日2回朝夕食後	14日分
マグミット錠500mg	1錠	1日1回朝食後	14日分
ベタニス錠50mg	1錠	1日1回朝食後	14日分

【薬剤アレルギー・副作用歴の有無】

5年前にレボフロキサシン内服で皮疹有り

【調剤上の工夫】

一包化しています

【検査値】

【特記事項】

#誤嚥性肺炎 11/1～11/7 スルバシリン注 3g ×3回/日

#心不全 11/8～スピロラクトン、ビソプロロール開始

■持参薬からの変更点: 有り

-ゲーフィス錠5mg (マグミットのみで排便得られているため)

→入院中は単剤で問題なく中止しておりました。適宜、排便状況のご確認をよろしくお願い致します。

■血液製剤の使用: 無し

※「退院当日に薬剤が変更となる場合があります。お薬手帳を参照し、不明点がある場合は下記薬剤部までお問い合わせください」

病院名: 浦添総合病院

住所: 沖縄県浦添市伊祖4-16-1

TEL: 098-875-4195

記載年月日: ○年12月1日

担当薬剤師: ○○○○



現在服用中の薬剤一覧

過去のアレルギー歴や入院中の副作用など

一包化、粉碎、簡易懸濁などの工夫について

モニタリングが必要な検査値があれば記載

入院中の使用薬、新規開始薬、中止薬について記載

アルブミン製剤や輸血などの使用歴について



## 4.リベルサス錠について

先月11月の薬事審議委員会にて、リベルサス錠(一般名:セマグルチド)という経口の2型糖尿病治療薬が院外限定で採用になりました。

### 特徴

- GLP-1皮下注射オゼンピックと同成分
- SNACと呼ばれる吸収促進剤を添加することで経口投与が可能になった、**世界初**  
**且つ唯一の経口GLP-1製剤**



### 用法用量

1日1回3mgから開始し、4週間以上投与した後、7mgに増量する。増量後さらに4週間以上経過後に、状態に応じて14mgに増量可。



### 注意事項



#### リベルサス®の服用方法



空腹時(1日の最初の飲食の前)に服用してください。起床時がおすすです。

1錠をコップ約半分の水(約120mL以下)とともに服用してください。

服用後に、飲み物を飲んだり、食事をしたり、他のお薬を服用する場合は、少なくとも服用後30分経ってからにしてください。

#### リベルサス®の保管方法



シートを切るときはミシン目以外で切らないでください。縦に切ったり丸く切ったりしないでください。



湿気や光に弱いので、服用する直前までシートから出さないでください。

## おねがい

リベルサス錠を処方する際には、服用方法に注意しつつ、

### ●奇数で処方しないで下さい

→薬剤ヒートを縦に切断できないため

### ●14mgを7mgの2錠で代替しないで下さい

→リベルサスの本来の効果が発揮できない可能性があるため



注意点が多い薬剤ですので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。